

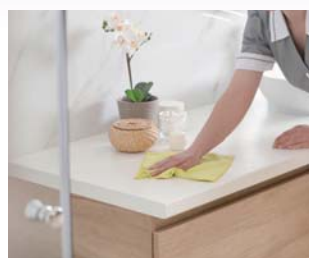
新しい生活様式が提唱されるなか「衛生管理」は重要な要素の一つとなります。

日々の汚れを水で落とす 安全安心な生活へ

ニューノーマルな清掃

ホテル・旅館編

電解水（アルカリ性電解水・酸性電解水）



※ここでの水とは電解水のことです。

近づけ！水で！安全な生活へ！！

毎日多くの人が行きかう施設には、日々の清掃は重要です。
水に洗浄と除菌の機能を持たせた電解水。衛生管理のベースアップに。

ホテル・旅館の清掃の手順一覧

※清掃場所の番号は任意で清掃の順番を示すものではありません。

エントランス

- ① ソファ
- ② 床面
- ③ ガラス窓

玄関・廊下

- ① ドアノブ
- ② 手すり
- ③ スイッチ
- ④ エレベーターボタン

トイレ・浴室

- ① 洗面台
- ② 床面
- ③ 便器
- ④ 浴槽

レストラン・ホール

- ① テーブル
- ② イス
- ③ 床面

厨房

- ① 床面
- ② 壁 1m 以下
- ③ 排水溝
- ④ 移動扉
- ⑤ シンク
- ⑥ トレー・作業台
- ⑦ まな板
- ⑧ 冷蔵庫

個室

- ① ドアノブ
- ② 扉（内・外）
- ③ 備品

ジム

- ① 運動器具
- ② マット

電解水条件	アルカリ性電解水	pH11.0 ～ 12.0
	酸性電解水	pH6.5 以下
	有効塩素濃度	25 ～ 35mg/kg

※敏感肌の方や長時間ご使用になる場合は掃除用の手袋をご使用ください。 ※目に入った時はこすらず、速やかに水でよく洗い、医師に相談してください。
※万一飲み込んだ時には水を飲み速やかに医師に相談してください。皮膚等に異常があった時は、速やかに使用を中止し医師に相談してください。

エントランス：①ソファ

	使用道具	備考
	・スプレーボトル ・フキン	作業時は十分に換気をする事。 ファブリック素材の場合

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し叩くように拭く→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をスプレーボトルでスプレーし水気が残るところはフキンで拭き取る。

エントランス：②床面

	使用道具	備考
	・床洗浄機 ・ドライワイパー ・ちりとり ・モップ	作業時は十分に換気をする事。

①水の代わりにアルカリ性電解水を床洗浄機にいれる→②事前に床面の掃き掃除を行いゴミは取り除いておく→③床洗浄機をかける2度かけすると効果的→④洗浄をおこなった後ドライワイパーで汚水を回収→⑤酸性電解水に浸したモップを固く絞りたたき洗いをするように余分な水気を拭き取る。

エントランス：③ガラス窓

	使用道具	備考
	・スプレーボトル ・スポンジ ・フキン	作業時は十分に換気をする事。

①アルカリ性電解水を窓枠に全体に噴霧する→②ガラスの上から下へ拭く。汚れがきつい所はスポンジで擦ってから拭く。

電解水条件	アルカリ性電解水	pH11.0 ～ 12.0
	酸性電解水	pH6.5 以下
	有効塩素濃度	25 ～ 35mg/kg

※敏感肌の方や長時間ご使用になる場合は掃除用の手袋をご使用ください。 ※目に入った時はこすらず、速やかに水でよく洗い、医師に相談してください。
※万一飲み込んだ時には水を飲み速やかに医師に相談してください。皮膚等に異常があった時は、速やかに使用を中止し医師に相談してください。

玄関・廊下：①ドアノブ



使用道具

- ・スプレーボトル
- ・フキン

備考

作業時は十分に換気すること。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる。

玄関・廊下：②手すり



使用道具

- ・スプレーボトル
- ・フキン

備考

作業時は十分に換気すること。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる。

電解水条件	アルカリ性電解水	pH11.0 ～ 12.0
	酸性電解水	pH6.5 以下
	有効塩素濃度	25 ～ 35mg/kg

※敏感肌の方や長時間ご使用になる場合は掃除用の手袋をご使用ください。 ※目に入った時はこすらず、速やかに水でよく洗い、医師に相談してください。
※万一飲み込んだ時には水を飲み速やかに医師に相談してください。皮膚等に異常があった時は、速やかに使用を中止し医師に相談してください。

玄関・廊下：③スイッチ



使用道具

- ・スプレーボトル
- ・フキン

備考

作業時は十分に換気をすること。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる。

玄関・廊下：④エレベーターボタン



使用道具

- ・スプレーボトル
- ・フキン

備考

作業時は十分に換気をすること。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる。

電解水条件	アルカリ性電解水	pH11.0 ～ 12.0
	酸性電解水	pH6.5 以下
	有効塩素濃度	25 ～ 35mg/kg

※敏感肌の方や長時間で使用する場合は掃除用の手袋をご使用ください。 ※目に入った時はこすらず、速やかに水でよく洗い、医師に相談してください。
 ※万一飲み込んだ時には水を飲み速やかに医師に相談してください。皮膚等に異常があった時は、速やかに使用を中止し医師に相談してください。

トイレ・浴室：①洗面台



使用道具

- ・蓄圧式スプレーボトル
- ・バケツ
- ・フキン
- ・スポンジ

備考

作業時は十分に換気をする事。
 蓄圧式スプレーボトルが無い場合はスプレーボトルで代用する。

①蓄圧式スプレーボトルを使用してアルカリ性電解水を洗浄面に噴霧し、スポンジで洗う。特に蛇口周りを行う事→②同様にハンドソープなどの希釈ボトルもスポンジ洗い流す→③磨いた所を流水ですすぐ→④酸性電解水に浸した清潔なタオルで拭き上げる。

トイレ・浴室：②床



使用道具

- ・バケツ
- ・デッキブラシ
- ・スクイージー
- ・モップ※樹脂製の柄が良い
- ・モップ絞り器

備考

作業時は十分に換気をする事。

①バケツに汲んだアルカリ性電解水を床全面にまく。デッキブラシで擦り洗いをする→②流水ですすぐ→③スクイージーで水を切る。→④酸性電解水に浸したモップで床を拭き上げる。換気を十分にしたら床を乾燥させる。

トイレ・浴室：③便器



使用道具

- ・バケツ
- ・スプレーガン
- ・トイレブラシ（スポンジ型が好ましい）
- ・細型ブラシ

備考

作業時は十分に換気をする事。
 スプレーガンが無い場合はスプレーボトルで代用する。

①バケツに汲んだアルカリ性電解水にブラシを浸し便器の中を磨く、ふちも入念に磨く→②便座裏等はスプレーガンで噴霧し、専用細型ブラシで磨く→③酸性電解水に浸した清潔なタオルで拭き上げる。拭き上げ後、トイレを一度流す→④酸性電解水を便座の中に噴霧する。

電解水条件	アルカリ性電解水	pH11.0 ～ 12.0
	酸性電解水	pH6.5 以下
	有効塩素濃度	25 ～ 35mg/kg

※敏感肌の方や長時間で使用する場合は掃除用の手袋をご使用ください。 ※目に入った時はこすらず、速やかに水でよく洗い、医師に相談してください。
※万一飲み込んだ時には水を飲み速やかに医師に相談してください。皮膚等に異常があった時は、速やかに使用を中止し医師に相談してください。

トイレ・浴室：④浴槽



使用道具

- ・バケツ ・スプレーガン
- ・スポンジ
- ・ブラシ

備考

作業時は十分に換気をする。スプレーガンが無い場合はスプレーボトルで代用する。

①バケツに汲んだアルカリ性電解水にスポンジを浸し浴槽の中を磨く→②排水溝等はスプレーガンで噴霧し、ブラシで磨く→③酸性電解水噴霧する④流水で流す。

レストラン・ホール：①テーブル



使用道具

- ・スプレーボトル
- ・フキン

備考

作業時は十分に換気をする。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し端から拭き上げる→②酸性電解水をフキンに噴霧し端から拭き上げる。

レストラン・ホール：②イス



使用道具

- ・スプレーボトル
- ・フキン

備考

作業時は十分に換気をする。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる。

電解水条件	アルカリ性電解水	pH11.0 ～ 12.0
	酸性電解水	pH6.5 以下
	有効塩素濃度	25 ～ 35mg/kg

※敏感肌の方や長時間ご使用になる場合は掃除用の手袋をご使用ください。 ※目に入った時はこすらず、速やかに水でよく洗い、医師に相談してください。
 ※万一飲み込んだ時には水を飲み速やかに医師に相談してください。皮膚等に異常があった時は、速やかに使用を中止し医師に相談してください。

レストラン・ホール：②床面



使用道具

- ・自在ぼうき ・バケツ
- ・片手ちりとり
- ・モップ

備考

作業時は十分に換気をする。汚れが十分に落ちない場合は専用の洗剤を少量使用する。

①窓を開ける→②机とイスを移動する→③ほうきでゴミを掃き出す→④ちりとりでゴミを取る→⑤モップをアルカリ性電解水に浸した後、よく絞る→⑥モップを左右動かし拭く→⑦隅から真ん中へ拭く→⑧モップが汚れたら洗面台で流水で洗って絞る。

厨房：①床



使用道具

- ・スプレーガン ・スクイージー
- ・モップ（※樹脂製の柄が良い）
- ・モップ絞り器 ・デッキブラシ

備考

作業時は十分に換気をする。スプレーガンが無い場合はスプレーボトルで代用する。

①アルカリ性電解水を使いデッキブラシにて擦りあらい→②（補足）汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③流水ですすぎ→④スクイージーを使用して水切り→⑤酸性電解水に浸したモップで拭き上げる。

厨房：②壁 1m 以下



使用道具

- ・スプレーガン
- ・ブラシ
- ・清潔なタオル ・モップ

備考

作業時は十分に換気をする。スプレーガンが無い場合はスプレーボトルで代用する。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し端から拭き上げる→②（補足）汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し端から拭き上げる。作業時は十分に換気すること。手袋着用が望ましい。

電解水条件	アルカリ性電解水	pH11.0 ～ 12.0
	酸性電解水	pH6.5 以下
	有効塩素濃度	25 ～ 35mg/kg

※敏感肌の方や長時間ご使用になる場合は掃除用の手袋をご使用ください。 ※目に入った時はこすらず、速やかに水でよく洗い、医師に相談してください。
※万一飲み込んだ時には水を飲み速やかに医師に相談してください。皮膚等に異常があった時は、速やかに使用を中止し医師に相談してください。

厨房：③排水溝



使用道具

- ・スプレーガン
- ・デッキブラシ

備考

作業時は十分に換気をする事。
スプレーガンが無い場合はスプレーボトルで代用する。

①飛散防止シートをする→②アルカリ性電解水をスプレーガンを使い散布、デッキブラシで擦り洗いする→③(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→④フタを開けてアルカリ性電解水をスプレーガンを使い散布、デッキブラシで擦り洗いする→⑤補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→⑥酸性電解水をスプレーガンを使い排水溝内とフタに散布。

厨房：④移動扉



使用道具

- ・スプレーボトル
- ・フキン

備考

作業時は十分に換気をする事。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し端から拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し端から拭き上げる。

厨房：⑤シンク



使用道具

- ・スプレーガン
- ・フキン
- ・専用ブラシ

備考

作業時は十分に換気をする事。
スプレーガンが無い場合はスプレーボトルで代用する。

①アルカリ性電解水をスプレーガンでカート全体に噴霧。→②台下・脚はブラシで擦り洗いする→③酸性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる。

電解水条件	アルカリ性電解水	pH11.0 ～ 12.0
	酸性電解水	pH6.5 以下
	有効塩素濃度	25 ～ 35mg/kg

※敏感肌の方や長時間ご使用になる場合は掃除用の手袋をご使用ください。 ※目に入った時はこすらず、速やかに水でよく洗い、医師に相談してください。
※万一飲み込んだ時には水を飲み速やかに医師に相談してください。皮膚等に異常があった時は、速やかに使用を中止し医師に相談してください。

厨房：⑥トレイ・作業台



使用道具

- ・スプレーガン
- ・フキン
- ・専用ブラシ

備考

作業時は十分に換気をする事。
スプレーガンが無い場合はスプレーボトルで代用する。

①アルカリ性電解水をスプレーガンでカート全体に噴霧。→②台下・脚はブラシで擦り洗いする→③酸性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる。

厨房：⑦まな板



使用道具

- ・フキン
- ・専用ブラシ

備考

作業時は十分に換気をする事。

①アルカリ性電解水の流水下でブラシ洗いを。（補足）汚れのひどい所は専用洗剤を使用
→②流水ですすぐ→③清潔なフキンでまな板を覆い酸性電解水で浸し 15 分以上放置する。→
④流水ですすぎ、まな板を立てて自然乾燥させる。

厨房：⑧冷蔵庫



使用道具

- ・スプレーガン
- ・フキン
- ・専用ブラシ

備考

作業時は十分に換気をする事。

①冷蔵庫内の食品をだす。→②アルカリ性電解水が入ったスプレーガンを噴霧して、ブラシ洗いを。→③清潔なフキンで拭き上げる→④酸性電解水に浸したタオルで拭き上げる。

電解水条件	アルカリ性電解水	pH11.0 ～ 12.0
	酸性電解水	pH6.5 以下
	有効塩素濃度	25 ～ 35mg/kg

※敏感肌の方や長時間ご使用になる場合は掃除用の手袋をご使用ください。 ※目に入った時はこすらず、速やかに水でよく洗い、医師に相談してください。
※万一飲み込んだ時には水を飲み速やかに医師に相談してください。皮膚等に異常があった時は、速やかに使用を中止し医師に相談してください。

個室：①ドアノブ



使用道具

- ・スプレーボトル
- ・フキン

備考

作業時は十分に換気をする事。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる。

個室：②扉（内・外）



使用道具

- ・スプレーボトル
- ・フキン

備考

作業時は十分に換気をする事。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し端から拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し端から拭き上げる。

個室：③備品



使用道具

- ・スプレーボトル
- ・フキン

備考

作業時は十分に換気をする事。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し端から拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し端から拭き上げる。

電解水条件	アルカリ性電解水	pH11.0 ～ 12.0
	酸性電解水	pH6.5 以下
	有効塩素濃度	25 ～ 35mg/kg

※敏感肌の方や長時間ご使用になる場合は掃除用の手袋をご使用ください。 ※目に入った時はこすらず、速やかに水でよく洗い、医師に相談してください。
※万一飲み込んだ時には水を飲み速やかに医師に相談してください。皮膚等に異常があった時は、速やかに使用を中止し医師に相談してください。

ジム：①運動器具



使用道具	備考
・スプレーボトル ・フキン	作業時は十分に換気をすること。 汚れが十分に落ちない場合は専用の洗剤を少量使用する。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる。

ジム：②マット



使用道具	備考
・スプレーボトル ・フキン	作業時は十分に換気をすること。 汚れが十分に落ちない場合は専用の洗剤を少量使用する。

①アルカリ性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる→②(補足) 汚れのひどい所は専用洗剤を使用→③酸性電解水をフキンに噴霧し拭き上げる。

